



志布志市立田之浦小学校  
令和7年度学校だより2月号  
令和8年2月20日発行

## 御在所の風

【令和7年度学校の願い(キャッチフレーズ)】  
楽しい学校～気付き考え行動する～



← 学校ホームページ(HP)QRコードです。日々の教育活動をHPで、随時紹介しています。左のコードから入り、閲覧ください。

# 春を感じる～地域、卒業生に支えられて～

校長 川邊 真人

1月は行く(往ぬる)、2月は逃げる、3月は去る。この慣用句は、1月から3月までは正月や新年度の準備などで忙しく、あっという間に過ぎてしまうことを、各月の頭文字にかけた日本の表現です。本当に、毎日があっという間に過ぎていきます。

2月も残り1週間となりました。朝は、まだまだ冷たく感じますが、昼休みになると、校庭は春の陽気に包まれ、子供たちの元気に駆け回る姿、そして大きな声が響いています。時の流れは早くとも、一瞬一瞬に見せる子供たちの姿や表情には、心がほっこりさせられます。



さて、2月1日(日)は、田之浦校区の大切な伝統行事「ダゴ祭り」が開催されました。例年、会場は、神事を田之浦山宮神社、そして、ダゴ花や神楽の奉納を田之浦ふるさと交流館で行っていますが、今年は市主催行事が交流館であったため、全て田之浦山宮神社で行うこととなりました。

子供たちは、奉納する神楽の練習はもちろんですが、校内では、地域の皆様に多数お集まりいただき、「ひらひら作り」、「ダゴ作り」、「ダゴ花作り」の指導をしてもらい、田之浦小学校として、1本ダゴ花を奉納することができました。そして、「巫女舞」「幣舞」「児鬼神舞」「岩戸潜り舞」4つの神楽舞も、祭り当日に奉納しました。

子供たちは、どんなに幸せなことでしょう。田之浦校区にとって春を祝う大切な行事に、こんなにも多くの地域の皆様に囲まれて、一緒に活動できること。そして、大木に囲まれた厳かな雰囲気の中で、多くの方々に見守られ舞うことができること。子供たちの頑張りも誉めてあげたいですが、それ以上に、生き生きと活動する子供たちを支えてくださる方々に感謝するしかありません。本当に、ありがとうございます。



【ダゴ花奉納】



【カワヅザクラ】



【神代あけぼの】

また、学校には、春を呼ぶプレゼントが届きました。昨年修復が完了した二百段階段に、井久保田之浦コミュニティ協議会長の計らいで、志布志市みどり推進協議会より桜木「神代あけぼの」3本が届き、正門近くに植樹させていただきました。また、本校の卒業生であり、創立150周年記念事業にも御協力いただきました宮ヶ迫忠興様から「カワヅザクラ」2本を寄贈していただき、これも先日、正門近くに植樹させていただきました。

これまで先輩方に植樹していただいた桜に、新たに5本の桜が仲間入りです。これからも、田之浦コミュニティ協議会と連携をしつつ、様々な基金等を活用し、植樹事業は継続していく予定です。二百段階段が、いつの日か「田之浦桜坂」として田之浦校区の名所になると嬉しいです。

2月になり、様々な場面で春を感じられる田之浦小学校です。地域の皆様に、そして卒業生の皆様に支えられ、令和7年度も残り1か月となりました。子供たちと一緒にラストスパートです。